

会報

第21号

発行者

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

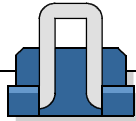
協議会事務局

PHS:070-6488-2049・080-3497-2049

URL <http://www.neko-kyo.com>

会長 古山繁雄

平成25年5月24日発行

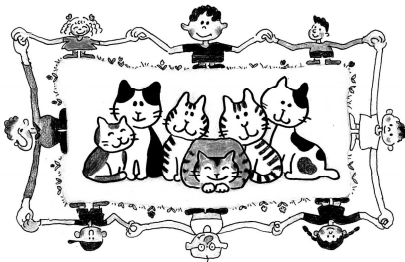


平成25年度 第12回 定期総会開催 のお知らせ

とき 平成25年6月7日(金)
午後2時～3時
受付 午後1時40分から
ところ 青葉区役所304会議室

- 平成24年度決算・事業報告
- 平成25年度予算・事業計画など

会員の皆様のお力で当会は運営を行っております
ご出席お待ちしております。



総会当日会場にて
大人気オリジナル
グッズ販売も行い
ます！

横浜市健康福祉局・公益社団法人 横浜市獣医師会

平成25年度 猫の不妊・去勢手術推進事業のお知らせ

健康な猫(野良猫含む)2,000頭を対象に、
不妊去勢手術費用の一部を助成します。
助成額:猫1頭 6,000円
(横浜市5,000円、獣医師会1,000円)

お申し込みは

平成25年6月3日(月)から お住まいの区の
福祉保健センター生活衛生課

手術は

公益社団法人 横浜市獣医師会会員の
動物病院

お問い合わせは

横浜市動物愛護センター ☎471-2111
公益社団法人横浜市獣医師会 ☎751-5032

注意！ 申請は1人につき2頭までに限らせていただきます。
(代理申請の申請可能数は、助成希望者1人分のみ)
※2回目を希望の場合、一回目の手術依頼書をすべて窓口に表示
してください。

事務局の電話が 新しくなりました

	5月14日まで	5月15日以降
・入会・退会 の連絡 ・不妊手術の 申込書の依頼	事務局担当の 動物病院	070 6488-2049
外ねこ に関する相談 (捕獲など)		080 3497-2049 変更なし

会員の皆様へ メールアドレス登録のお願い

今期より、ねこ協事務局
からのメールでのお知らせ
を追加させていただく
ことになりました。



事務局の新しい携帯に

- ・件名(題名)を『登録』とし、
- ・『お名前』(フルネーム)

を下記アドレス宛、メールをお願い
いたします。

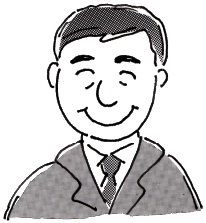
メールアドレス

nekokyo@willcom.com

注)このアドレスで外ねこに関するご相談(捕獲など)をお受けする事はできません。

選挙期日前投票のため
7月、8月は102会議室が
使用できません。
キャットメイト交流会は
お休みとさせていただきます。





講演会

高齢ねことの暮らし方

平成25年2月9日 青葉区役所にて

講師：獣医師 井本 史夫 先生

先生は、高齢動物医療や動物行動学に基づく治療などに力を入れておられ、テレビ出演や講演会などでも活躍されています。
おはなしの一部をご紹介します。

ねこの高齢期は10歳以上
どの組織や臓器が先に衰えるか個体差があります。

体の変化をよく見ましょう



行動の変化をよく見ましょう

- 1 食べる量が減った、異常に増えた
- 2 食べ方が遅くなった
- 3 固いものを食べにくそうにする
- 4 よくこぼす
- 5 飲水量が異常に増えた

高齢ねこに多い病気

- 1 認知症
症状は
環境や人への認識の低下
昼と夜が逆転
(よく効くサプリメントがあります)

2 慢性腎不全

特に高齢のねこに多い疾患です。10歳で10%、15歳では33%
進行性で確実に悪化し、根治療法はありませんが、進行を抑えるためのいろいろな療法があります。(血液透析や食事療法など)

3 白内障、核硬化症

4 外耳炎

5 歯石、歯肉炎、歯根膿瘍

6 便秘、鼓腸、便失禁

7 関節炎、椎間板ヘルニア、奇形性脊椎症

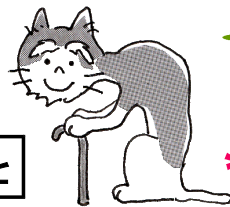
8 心疾患

9 真菌症

10 腫瘍

介護の第一歩は観察です！

日頃の状態を伝えていただくことで
獣医師は的確な治療、アドバイスができるのです。

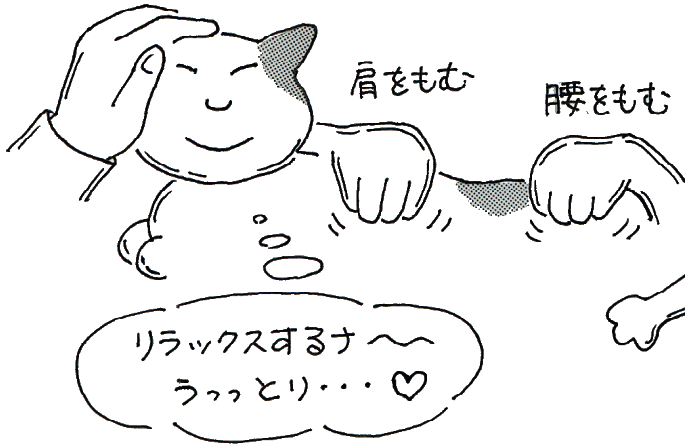


ねこが暮らしで望むこと

- 静かで落ちついたところで暮らしたい。大きな声を上げないでください。
バタバタしないでください。
狭いところで大勢(のねこ)と暮らすのは嫌いです。清潔でゆっくり用の足せるトイレ
(ねこ数+1)が必要です。
- 匂いはとても重要です。
新しい荷物や家具がくると爪とぎをしなくなります。
家具が変わっただけでもストレス。高齢ねこにとって引っ越しはかなりのストレスです。

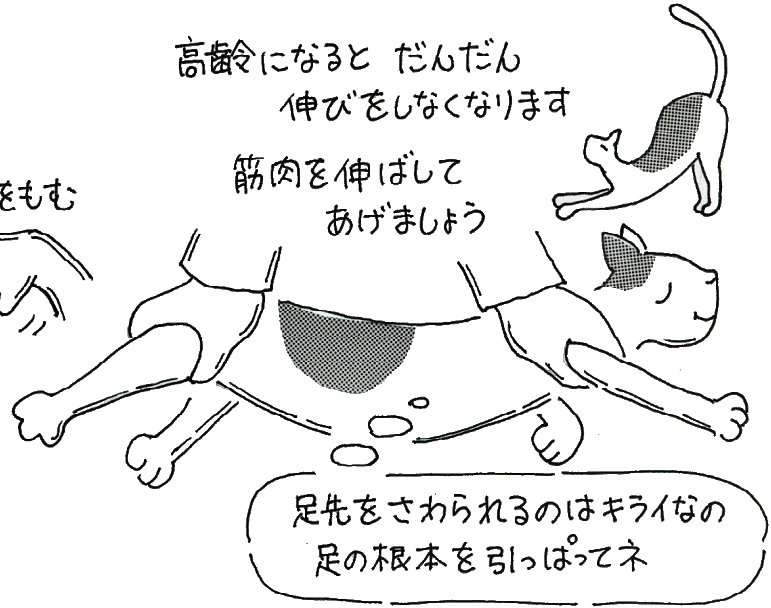
マッサージ、ストレッチ

耳のそばをやさしくさわる



高齢になると だんだん
伸びをしなくなります

筋肉を伸ばして
あげましょう



考えなくてはいけないこと

家庭動物における安楽死の定義

- 1 動物が現代獣医学の知識と技術からみて、不治の病に冒され、死が目前に迫っており、
- 2 誰もが見るに見かねるほど、動物の苦痛が著しく、耐え難い状態であり、
- 3 飼い主の囑託、承諾を得て
- 4 専ら動物の苦痛緩和除去を目的に
- 5 獣医師が動物の死期を若干早める処置をとることによって起こる死

安楽死の種類

- ・消極的安楽死
苦しみを長引かせないための延命処置を中止して、死期を早める。
(何もせず見守るのみ)
- ・間接的安楽死
苦痛を除去緩和するための処置はとるが、それによって死期が早まる可能性がある。
- ・積極的安楽死
苦痛から免れさせるために意図的に、積極的に死を招く処置をとる。



『ペットロス』は 『悲しいときの反応』です

悲嘆反応	
正常	病的
涙を流す・泣く 怒る・喜びを表す	悲しみを表現しない 怒りや敵意を 表さない
言語活動は 活発・よく話す	言語活動は 抑制・寡黙
罪責感は死別した 対象に限られる	罪責感は喪失した 対象以外にも広がる

病的なペットロスに 陥らないために

- ・思い切り泣く
- ・仕事を休む
- ・友達に話を聞いてもらう
- ・友達とおしゃべりする
- ・早めに日常生活に戻る
(忙しくする)
- ・『死』に伴う行事をする
- ・円満な家庭を作っておく

青葉区民まつり・健康フェスティバル

例年通り11月3日(祝)「猫との暮らしを考える協議会」の参加グループとして、体育館の「相談コーナー」、駐車場では資金作りのバザーに参加しました。お天気にも恵まれ、午前中は寒かったにもかかわらず開始前から大変な人出でした。子供たちには好評の駄菓子の入ったねこバッグや、ご好意で頂いたビーズやリボンで作ったストラップが飛ぶように売れ、年配の方にはアジアンの衣類や雑貨が人気でした。

今年のテーマ「地域の力」、「心の絆を青葉から」をキャッチフレーズに、コミュニケーションのとれた秋の一日を元気に楽しく過ごすことができました。

獣医師会・歯科・内科の相談、骨密度測定コーナーなど、区民の健康と生活に関する様々な展示や実際の指導などの中で、私達のコーナーもすっかり溶け込んでいる雰囲気でした。

街頭募金

ご協力ありがとうございました

皆様には日頃から、ねこ協事業にご理解頂きまして誠にありがとうございます。ねこ協も設立以来10年を過ぎ、これまでに多くのねこに避妊・去勢手術を行って参りました。本来ならもっと多くのねこ達に施術したい所ですが、毎年予算の関係上実施頭数には限りがありました。

そこでねこ協としては初めての試みとして、昨年11月18日(日)たまプラザ駅前街頭募金を行い総額65,878円の皆様の善意を頂きました。今後も様々な方法を検討し手術の為の財源を考えて参りますので、皆様のご協力をお願いします。

青葉区ねことの暮らしを考える協議会
会長 古山繁雄



遺言書を書こう

「あそこのお年寄りが施設に入って猫が残されたのだけど引き取り手がなく、処分された・・・」そんな話を何回か聞きました。

これからは、こういうことが多くなるのだろう、何とかしたい・・・飼い主同士でセカンドオーナー契約を結んで助けることはできないだろうか？との思いから、ひとり暮らしでも、シニアでもペットと最後まで幸せに暮らせる地域づくりをしたいと「ペットと最後まで」という法人を立ち上げて、2年が経ちました。

当時は、猫仲間もほとんどいなくて、活動している先輩方は、これが今後、大きな問題になるといいながらも解決策はない、飼い主同士で助け合うなんて無理！という感じで、四面楚歌の気分でした。

HPを見た人からは、猫を引き取ってほしい、飼えなくなった、どうすれば良い？など解決の見えない相談ばかり。

市民館の友人のアドバイスで「ペットと一緒に地域づくり」という連続講座をしました。講座を行う中で、問題を共有できる仲間がきっと見つかるかと期待しました。特に「ペットのための遺言書を書こう」の回は好評でした。

年齢に関係なく、人は明日、何が起こるかわかりません。

「なんとかなる」は禁物ですから、万一の時のために猫の引き取り手を決めておく、持参金は1匹200万円位が相場、但し所詮、遺言書は拘束力があるものではないので、万一相手の方に「やっぱりいやだ」と言われてしまえばそれまでのこと、だから、結局、託す人と託される人の信頼関係が大事！！ということが判りました。

1匹200万円なら、何匹飼えるか、おのずと決まってくるしね。遺言書を書くことで、本気で、自分の死後の猫の「生き場所」を決めることに向き合うのです。今年は、動物取扱業の登録をし、入院の時の預かりや先方宅に伺ってペットシッターもしています。

今後は、コミュニティカフェで、ペットのための遺言書を書く定期的な勉強会をすることや、「温泉でペットのための遺言書を書こう」という企画もあります。

関心のある方、一緒に活動していただける方は是非ご連絡ください。

一般社団法人 ペットと最後まで

中島まり子

URL: <http://www.pet-saigomade.com/>

MAIL: info@pet-saigomade.com